

2025 年 3 月 26 日
No. 2024-046

3,055TEU 型コンテナ船 “INTERASIA TRIBUTE” 引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬 崇)は、3 月 26 日(水)、呉事業所(広島県呉市)にて建造していた 3,055TEU 型コンテナ船 “INTERASIA TRIBUTE” (インターエイシア トリビュート)を引渡しました。

本船は、INTERASIA LINES SINGAPORE PTE. LTD. 向けのシリーズの 4 番船です。

同船型は、当社が開発した、ホールド内最大 12 列×6 段、デッキ上最大 14 列×7 段の積載能力をもつ総積載量 3,055TEU のフィーダーコンテナ船です。アジア発着及びアジア域内での海上輸送量の増加に伴い、中長距離の定期航路への投入を想定し、高い積載能力を確保する一方で、定時運航を可能とする高い航海性能が求められる中、弊社技術を駆使し両性能を高いレベルで実現、従来船に比べて環境性能と運航性能を著しく向上させた船型となります。

【本船概要】

主要寸法 : 全長 203.50 m x 幅 34.80 m x 深さ 16.60 m x 喫水 11.50 m
総トン数 : 30,676
主 機 関 : 日立造船 MAN-B&W 7S70ME-C10.5 x 1 基
定 員 : 25 名
船 級 : DNV
船 籍 : Singapore

【特徴】

- ・最新の解析技術による低抵抗・高効率を追求した幅広最適船型を開発、併せて、弊社独自の省エネデバイスである LV Fin、ALV Fin® の最適化により、従来船に比べ大幅な燃費削減を達成しています。
- ・MAN B&W 最新デザインとなる電子制御エンジン Mark10.5 の採用、冷却海水ポンプのインバーター制御の採用により、本船の燃費性能を向上させています。
- ・INS(Integrated Navigation System, 統合型航海システム)及び全天候型ブリッジの採用し、航海中及び離着岸時の操船の利便性 安全性を向上させています。
- ・CCTV カメラシステムを装備し、航海支援・機関室内監視等による安全性向上を図っています。
- ・バラスト水処理装置の装備、有害物質一覧表の保持等に適合するなど、様々な環境規制に対応しています。

弊社は今後も、経済性・環境性に優れたコンテナ船をはじめとした最新鋭のエコシップの開発・建造に努めてまいります。

